

2024年1月22日

## FIE 用具規程 (m)の変更に伴う大会への適用について(改訂)

公益社団法人 日本フェンシング協会  
ルール・審判委員会

2023年全日本選手権大会(団体戦)以降、(公社)日本フェンシング協会主催大会及びシニアFJEポイント大会においては、FIE用具規程に則り、下記規程を適用する。

※一部大会(ジュニア・カデ・ミニム等)については当該大会の要項に準ずる。

### <シニア大会について>

用具規程【全て最新のFIEルールを適用】

※ブレードについては、別添2を参照のこと

- FJEポイント対象大会
- 全日本選手権大会(個人戦・団体戦)
- 国民スポーツ大会

### <高校生以下の選手が上記の大会に出場する場合>

用具規定【2024年1月22日から適用】

※ブレードを除く

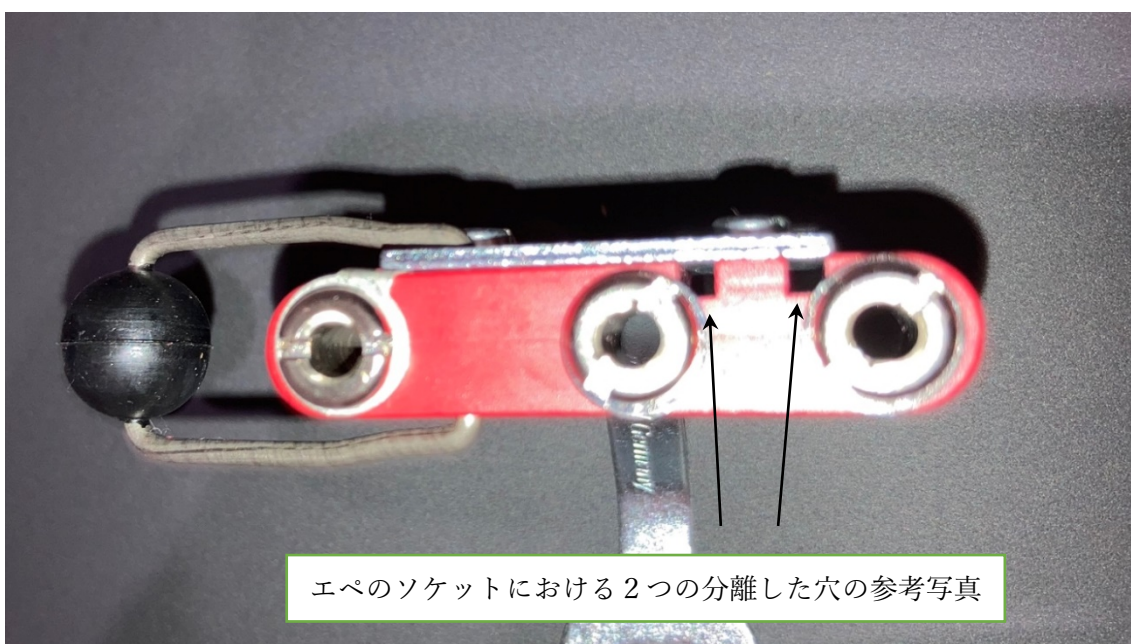
- ・ユニフォーム(上下) FIE公認マーク付き(800N)  
※国民スポーツ大会少年の部は350Nも使用可
- ・半袖プロテクター FIE公認マーク付き(800N)
- ・マスク FIE公認マーク付き(1600N)
- ・サーブルクローブ FIE公認マーク付き(800N)
- ・ボディコード FIEルール
- ・エベソケット FIEルール

### <ミニムについて>

用具規定【当該大会の要項に準ずる】

【別添1】

1. エペのガード内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。(FIE 用具規定 m. 18.3 参照)
2. ボディワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディワイヤーのプラグに装備されてなければならない。(FIE 用具規定 m. 29.1.b 、 m. 31.2 参照)



## 〈ブレードについて〉

- エペ及びフルーレのブレードの場合は、「FIE」の刻印があるブレードを使用すること。
  
- 使用可能なサーブルのブレードは以下の通りです
  - ・東京フェンシング商会  
品番・品名：3057 マラジン TF
  - ・東京フェンサーズ  
品番・品名：316 レオンポール APEX FIE サーブルブレード
  - ・KFE  
品番・品名：S0705U ウルマン/PBT FIE サーブルブレード  
品番・品名：SB0017 フランチャーニ FIE サーブルブレード

※上記以外のブレードは、「FIE」、「M」または「Maraging」のいずれかの刻印があること。